













ヒナが良いスタートを切るためには適正な育雛コンディションが重要です。

正しい機器を使用することで餌付けされたヒナを正確に評価できます。

下記は育雛コンディションを調査するための機器のリストです。

機器	目的	方法	詳細
 秤	個体重とCV%の測定	母鶏群別にヒナを別箱に入れ、すべてのヒナを個体測定する	1,000g測定できる0.1g単位の小型秤
 肛門温度計	餌付け時とその2時間後に肛門温度を測定する	輸送車の前、中、後部から5羽/舎内の少なくとも5か所から10羽	耳式温度計 Braun® Thermoscan® は精度が良い
 赤外線スポット温度計	育雛域内のコンクリート/床と敷料温度及び敷き紙の温度を測定する	推奨温度に到達させるためにヒナ到着24時間前に測定し、ヒナが快適かを評価するために餌付け後も測定する	スポットレーザー式のデジタル赤外線温度計
 棒状温度計	水温測定	ビーカーに水を取り、棒状温度計で温度を測定する	実績のあるデジタル温度計
 CO ₂ メーター	温度、相対湿度、CO ₂ を測定	ヒナの高さで育雛域内の異なる3点を測定	相対湿度、CO ₂ 、温度がわかるデジタル計
 風速計	風速を測定	育雛域内のヒナの高さで測定	信頼性のある風速計 例：Kestrel 3000
 照度計	照度を測定	鶏舎内の9~10か所の照度をヒナの高さで測定	信頼性のある照度計
 クロープフィル	食欲の発達およびエサと水を見つられているかを調査	餌付け後2、4時間後にチェック/舎内の異なる3か所から30~40羽分を記録	プロイラー管理 How To クロープフィル調査 
 飼料ふるい	飼料の物性を測定	給餌器に最も近いホッパーから飼料サンプルをとる	Aviagen社 feed sieve(飼料ふるい) 
 スマートフォンに取り付け可能なサーモカメラ	暑い/寒いスポット、隙間風、ヒナの快適さを目立たせる	餌付け前の準備に問題がないか、また餌付け後ヒナが快適か/温度が適正かを評価するために餌付け前と餌付け後で使用	信頼性のあるサーモカメラ

注：この表で取り上げている機器は一例にすぎません

ヒナの餌付け

✓ 餌付け時の推奨環境コンディション：

- 空気の温度（エサと水があるヒナの高さで測定）：
 - 温風育雛の場合、30°C/86°F
 - スポット育雛の場合、ブルーダーの端で32°C/90°F
- 敷料温度：
 - 28-30°C (82.4-86.0°F)
- 肛門温度：
 - 39.4-40.5°C (103-105°F)
- 相対湿度：
 - 60-70%

✓ 風速：

- 最高0.15/秒 (30ft/分)

✓ CO₂：

- <3,000 ppm

✓ 飼料：

- 粉がないクランブルまたはミニペレット
餌量は約40g (1.5oz) /羽を計量し、餌付け前に敷紙にまくべき

✓ 水温：

- 18-21°C (64-70°F)

✓ ドリンカー：

ドリンカータイプ	プロイラー	種鶏
ニップルライン	12羽/ニップル	12羽/ニップル
ベルドリンカー	1,000羽あたり6個	1,000羽あたり8個
補助ドリンカー	1,000羽あたり10個	1,000羽あたり12個

✓ 給餌器：

- 給餌トレイ：プロイラーは100羽あたり1枚、種鶏は80羽あたり1枚および/または床の最低80%に紙を敷く

✓ 敷料の厚さ：

- 2-5 cm (0.8-2 in)

✓ 照度：

- プロイラー：30-40 lux (2.8-3.7 fc)
- 種鶏：エサと水のあるエリアは80-100 lux (7.4-9.3 fc)、それ以外は1-2 lux (0.09-0.2 fc)

✓ 飼料形状：

粒子サイズ	クランブル/ミニペレット	マッシュ
> 3 mm	15%	25%
2-3 mm	40%	25%
1-2 mm	30%	25%
< 1 mm	< 10%	25%

餌付け 2時間後

✓ クロップフィル調査：

- 目標はサンプルの75%がそ嚢に餌と水が十分に入っている

✓ 補助ドリンカーの水のレベルと敷紙上の餌量をチェック

- ヒナは餌を食べ、水を飲んでいますか？

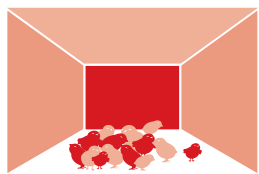
✓ ヒナの行動：もし環境コンディションが適正でないようなヒナの行動が見られたら、環境を調節して、行動を再評価しなければなりません

餌付け 4時間後

✓ クロップフィル調査：

- 目標はサンプルの80%がそ嚢に餌と水が十分に入っている

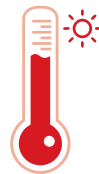
- 餌と水を追加する必要がありますか？



環境が寒すぎる：ヒナ同士または熱源の下に寄り集まり、辛そうに騒々しく鳴くでしょう



適正環境：ヒナは均等に分布し、満足げに鳴く



環境が暑すぎる：ヒナは熱源を避け、静かでパンチングし、頭と翼を垂れ下げる

